

# 原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2025/04/28号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



## 【現状確認】



## 横ばい、リスクオンと需給緩和見通し

NY原油先物相場は、1バレル=62~64ドル水準をコアに売買が交錯する展開になった。米中通商環境に改善期待が浮上する中、株高連動で原油相場も下支えされた。ベッセント米財務長官は、数カ月以内に中国との緊張緩和の合意が可能との見通しを示している。ただし、需給緩和に対する根強い警戒感が上値を圧迫し、週を通じて明確な方向性を打ち出せなかった。石油輸出国機構（OPEC）プラスが6月も5月と同規模の供給増に踏み切るとの報道も、原油相場を圧迫した。

国際通貨基金（IMF）は、2025年の世界経済成長見通を1月時点の予測から0.5%引き下げ2.8%とした。トランプ関税の影響が織り込まれており、石油需要見通しの悪化傾向が追認されている。また、国際エネルギー機関（IEA）ピロル事務局長は、新たな供給増加と中国経済減速による需要鈍化を受けて、年内の原油価格がさらに下落する可能性を指摘している。予期せぬ事態が発生しない限り、原油価格の下押し圧力が続くとしている。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（4月18日時点）は、原油が前週比24万バレル増、ガソリンが448万バレル減、石油精製品が235万バレル減となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

## 原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

## 【展望】

## 需給緩和見通しで上値重い、米中通商環境が注目されるも

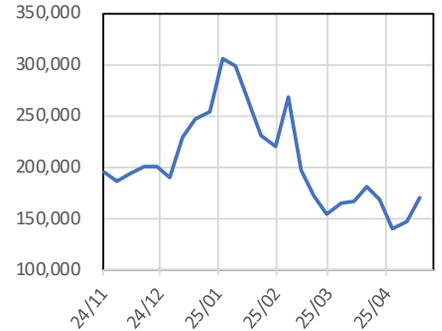
需給緩和見通しから、上昇余地は限定される。通商環境のリスク評価はトランプ米大統領の発言によって大きく揺れ動いているが、いずれにしても石油需要の伸びが鈍化することは避けられない。この状況で石油輸出国機構（OPEC）プラスが減産規模の縮小を強く志向している以上、需給の緩みが原油相場の上値を圧迫する展開に変化は生じない見通し。65～66ドル水準を上値目途に、60.00ドルの節目を打診しよう。

仮に、米中通商協議開始への期待感が高まると、投資家のリスク選好性が高まり、株価連動で60ドル台中盤を試す可能性はある。引き続き通商環境に対する関心は高く、特にトランプ大統領の発言によって原油相場の地合も大きく揺れ動く可能性がある。ただし、米中が早期に何らかの合意に達する可能性は低く、包括合意についてはベッセント米財務長官も2～3年が必要との見通しを示している。石油需要の伸びが鈍化する傾向に、大きな変化は生じない見通し。リスクオン環境を前提としても、需給の緩みが原油相場の上値を圧迫しよう。

上昇リスクとしては、引き続き地政学環境には注意が求められる。米国とイランの高官協議は無難に消化されているが、核問題について協議が決裂して交渉が止まり、トランプ米政権がイラン産原油に対する圧力を強化するような動きがみられると、瞬間的な上振れリスクは想定しておく必要がある。

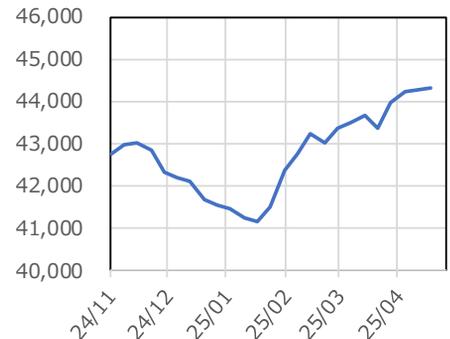
また、4月中旬の原油相場の反発については、短期的な下げ過ぎ感の解消と同時に、ドル安の影響も大きかった。足元ではドル安が一服しているが、月末の米経済指標などを手掛かりに改めてドルが軟化すると、為替要因で強含む可能性がある。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



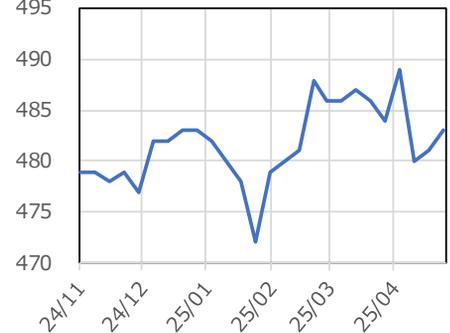
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

## 【ディスクレーム（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 [info@marketedge.co.jp](mailto:info@marketedge.co.jp)

### 小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は  
ツイッターで

